

令和4年度第三セクター経営評価結果及び対応について

一般財団法人青森市文化観光振興財団

1 令和4年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

すべての項目について「概ね良好」の評価を得ているが、依然として自主事業収益の低下などにより厳しい経営環境にあり、財務体制の強化が引き続き求められる。

※参考 令和3年度決算

■当期損益 2,569千円 累積損益 27,197千円

■市からの収入

全体626,982千円（経常収益に占める割合 R3：74.3%←R2：72.8%）

うち競争によらないもの 82,331千円（経常収益に占める割合 R3：9.8%←R2：10.5%）

2 第三セクターの対応

◆経営戦略プラン(R2～R4)の取組と計画

経営基盤の強化、指定管理施設の機能充実と美化活動、利用者サービスの充実、地産地消の推進、文化芸術の普及振興、スポーツの普及振興、情報発信の強化、人材育成の強化、公益事業の強化、収益事業の強化という経営戦略方針に基づき事業を推進。

○具体的取組

- ①組織構成及び責任者の配置・役割の見直しによる経営責任の明確化
- ②指定管理施設の防災・防犯管理の徹底
- ③イベントの見直しと各施設の特性を生かしたイベントの検討
- ④職員を育成し施設の情報発信を強化

○財務計画：毎年度当期損益の収支均衡を最低限維持

【取組状況】

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったものの、施設の休館はなく、イベントなどもほぼ計画通りに、各事業所において実施することができた。また、令和4年7月にリニューアルされたユーサ浅虫においては、「あさむしマルシェ」や「パンとコーヒーまつり」などの開催の他各種イベントの実施による来館者の増加策に努めている。

令和5年度以降については、引き続き、当財団の経営健全化に向け、地域住民の利用の促進に努めるとともに、青森市や関係団体との連携を強化し、持続可能な法人として収益性の高い自主事業を展開していく。

3 市の対応

令和4年7月にリニューアルオープンしたユーサ浅虫に関しては、物販コーナーの改修やキッズコーナーの設置、案内表示の改修等を行い、浅虫地域の拠点として、観光客のみならず地域住民の利用促進を図り、魅力ある道の駅となるよう取り組んでいる。また、新型コロナウイルス感染症の流行による集客の減少を踏まえ、毎月売上状況を確認し、改善に向けた検討・協議も行っており、今年度の収支は改善の方向に向かっている。今後は、財団全体の当期損益の黒字化に向けて、経営戦略プランに基づいた取組等の着実な実施、収益事業の更なる検討・実施を求めていく。